京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

雜纂

漢城より

北韓山生

▲昨日の紙上、わが多感なる三面子は墓地制定の急を叫び候、讀者の首肯さるゝ處なるや否やは知らざれども、吾等は三面子の曰へる如く「燒いて粉にして本國で送る」、在韓邦人の現狀に見て口惜しく御座候、

▲中には愛國心の、愛郷心のを云々して墳墓の地を日本國以外に設けざるを可とする仁も有之候得共、殖民的能力と愛國心とが相背くべき理由は、我同胞に於ては毫末も無之ことに御座候、

▲曾て吾等は、龍山に火葬場の設け無きを意外とし、其の急設を絶叫せしも至今何等の反響も無之候、於此吾等は呆れざるを得ず云ふ處を知らず、意外と呆れの積を評すべき言葉を發見する迄[illegible]居る次第に有之候、

▲序に、故伊藤公は長白山上に骨を埋めんと豪語せられたることあり、英勇公の如きは眞に此の心ありし筈なり、斷じて口頭語にあらず、後人は公の志を繼ぐべきもの也。

▲獨逸に於ては、本月二十五日短距離ながら飛行船の空中定期航路を開きたる由、世は益繁多となれり、此の勢を以て進まば、人は戰爭の慘禍を想像するのみにして戰慄し、戰爭は遂に史乘の事蹟とのみ見らるゝの時代に到達致すべく候、

▲然る時代ともならば、人間の社會否生物の上に起らん變化は想像の及ぶ處にあらざるべきが、先づ人間そのものに就ても改造の必要可有之候、

▲今其一端を想像せんに、第一に體軀の滿肥は却けらるべし、何となれば、肥滿者は概して心臟強からず、空中の飛行には不向きならん、故に肥滿を避けんが爲めに食物は成るべく肉類を取らざることゝならん、穀類野菜の精進料理が幅を利かすことゝなるべし、恐な事の實現せらるゝは必定にて候也、

▲京城合併すとも、電話加入區域は合同せられざるべしと、官の都合ならん民團の合併と官の都合とは別事ながら或期を限りて合同するの必要は有るなり、同一の都市に市外電話として料金を徴收するの例は日本に無之筈也、去れば官の都合は急に可然取計はるべきものと信じ候、

雜錄

沿海州の漁業近狀

露領沿海州の漁業は先づ二方面に大別するを得べくニコライスク方面に於ては邦人は唯露人が黑龍江にて漁獲したる鮭鱒等を購買輸入するに過ぎざれども他の一方面たる

▲カムサツカ地方　に於ては其漁業は全く邦人獨占の姿にして毎年五六月の交北海道秋田南部地方の漁夫函館を發して同地方に赴くもの約六千人を算すべく其漁獲期は七八月の二箇月なるが當時に於ては同地方は殆ど日本の領地の如く昨年に於ても露人の漁區は僅かに十五箇所なるに我が漁區は實に百八十三箇所に達し本年は百七十六箇所なり而して漁夫は唯雨露を凌ぐに足る假屋をしつらへて晝夜間斷なく出漁し昨年に於ては其收獲高總計約十八萬石を算し鮭鱒等之に次げり斯くて九月に至れば何れも歸國するものなるが最も遺憾なるは漁法幼稚なると資力裕かならざるの二つにして其供給の方面は殆んど内地に限られニコライスク方面に於て購買輸入する所二十七万石にも及び却て邦人漁獲の上にあり今日の如く唯食鹽を用ゆるのみにては持久力乏しければ本年より沿海州水產組合より千圓の補助金を與へてカムサツカ東海岸に於て罐詰業を創め又神戶帝國水產會社は鮭の冷藏貯藏を企てつゝあれば此後ますゝゝ資金を潤澤にして改良の法を講ずること急務なるべしと云ふ

拓殖局權限と將來

今回新設の拓殖局が滿韓樺太臺灣に於ける拓地殖民の事務を統轄するは官制の示す所にして之が分課並に處務規定等は内閣に於て目下立案中なるが元來各殖民地の事務は劃一的に統一する事恰も内務省が各府縣を統理するが如き事情を許さず例へば產業にしても各殖民毎に其の趣きを異にし之を一律する能はざるが故に拓殖局が各殖民地に對する中央政府の如き權限を保有するに非ず從つて臺灣總督にまれ關東都督にまれ軍事行政の御親任を受け居る權限には毫も波及する所なく只現在各省の被管となりて區々たる殖民事務を統轄するに過ぎず但し時勢の推移に伴れ拓殖局が進で一省を形成し國務大臣の主宰する場合に於ては事項によりては總て此處より發令せられ同時に各殖民廳の權限に幾部の縮少を見るに至るべきも現在に於ては將來も事務上何等變異なきなりと

●豐漁と送金の奬勵

群山近海の漁期は例年四五六の三箇月なるが本年は頗る盛況にて鮟鱇、鯖、鯛、大口魚、太刀魚の漁獲夥しく盛季には四百五十艘内外の漁船來集し一船約五百圓乃至七百圓の漁獲ありたる由にて水產組合にては漁夫等の亂費を防止する爲に巡邏船に郵便局員を乘り込ませ爲替を取扱はしめ鋭意國許に送金を奬勵しつゝあり其結果は頗る良好にして既に同地よりの送金額二万圓に及べりと尙仁川近海の盛季は七八九の三箇月にして三百五十艘の漁船鯛、鮟鱇等の漁獲に從事し居れるが既に一船四百圓乃至八百圓位の漁獲高ありしと

俳句

◎夏（植物）五句　多田千春

長いのも丸いのも皆茄子かな

奥深き鎗や若葉の東大寺

東雲の瀧香寒し若楓

約束の外の立場や夏木立

待兼ねし新茶や宇治の初便り

講談

大岡政談 越後傳吉

第十一回　旭堂南陵講演

せん「妾はれせんと申しますので」傳「アゝさうでございますか、此上とも思ふて御座るれ父樣を孝行にして上げなせねよ、れ前樣のやうな孝行な娘さんを持てゐるれ父樣は幸福だ」娘「ハイ有難うございます、貴方のやうに親切にいつて下さるた方は滅多にございません、れ泊りのれ客樣は父がわらいふ病をうけて居りますから、夜時々嫌な聲を出しますので、それを御立腹になつて夜半に立つれ方やら朝になつてボンゝゝと怒るれ方やら、皆な小言ばかりいはれる中に、貴方樣ばつかりが御親切なれ言葉、先の短い父でございます、出來るだけの孝行をしたいと思ひますが、さて貧が身を攻めまして思ふやうには出來ませんので……」傳「それが結構でございます、なる中からするのよりならぬ中から盡しなさるのが實際の孝行ぢや、れ羨ましうございますわい、こりやハア少ねへがどうぞせんさん、私もマア今いふ通り江戶へ奉公に行く途中でございますで、多分の路銀もねえだ、五百文ありますから、れ父樣の口に合ふた物を買ふて上げて下せね」せん「アレモシこんな物を頂いては濟みません、どうぞアノこれだけはれ納めを願ひたうございます」傳「イヤさうでねえでがす、こりやア少ねえけれども、どうか納めて置て下せね、遠慮をしねゑで取ッといて下せね、れ願ひ申します、こりやア別に旅籠料でございます」せん「そんなに貴方貰ふては濟みません」傳「イヤゝゝさうでねえだ、れ父樣への見舞ぢや、あんでも宜いから口に合ふた物を買つて上げなせね、イヤ孝行して下せねよ、左樣なら」傳吉漸う挨拶をいたして支度に及び戶外へ出る、れせんはこの時に傳吉の一言が身に染みて嬉しいからと、涙をながして訣別惜けに見送つてまゐる　傳「それではれせんさん」せん「ハイ旦那樣」と右と左、傳吉其の儘テクゝゝと江戶へ向いて來たが、何しろ懷中の路銀の多寡が知れてるところへ、旅籠代を拂つて五百文といふ錢を施與をしたんだから夫れだけ足りない、漸う江戶へ入つた時には朝から飯を食はないから眼が眩いさうだ、併し目的のないところへ來たのではない、淺草の田町に大和屋源兵衞といふ桂庵、土方の口入屋、これが以前越後の寶田のもので、祖父の傳左衞門が始終世話してある、この人を尤も子供の時分に知つて居る、自分も寶田村からも隨分江戶に稼ぎに出る者がございます、それが皆同じ村の出ですから、當時源兵衞が江戶で一軒の家を構へてるから皆此所へ賴寄つて來る、其の人逹からも傳吉が聞いてゐるからマア此所へ賴寄る積り來るどなかゝゝ立派に稼業をやつて居ります表に大和屋といふ暖簾が掛つて居る　傳「御免下せへ」源兵衞の女房がヒョイと見ると「イヤマア越後の寶田から今來ましたといふ露骨の男、もう源兵衞の女房も困つて居る又しても村方からヒョコゝゝ歩つて來て、屹度三日や四日は食倒して跡は奉公に行くその面倒を見てやらねばならん、モウ奉公人でも越後の人には懲て居る、丁度今源兵衞は湯に行つて不在　女「オヤゝゝ又來たわ、仕樣がないね、良人のんがあんな詰らない國に生れたもんだから、皆來る奴が御厄介ゝゝいつて來る人だわどのくらゐ越後の者に食倒されるか分りやしない、さうゝゝ人の世話ばかりして居られない、宜い加減に謝絶つちまう　傳「御免下せへ　女「ハイ入らしやはいが……　傳「ハイ源兵衞樣は御不在でムいますか　女「ハイ」傳「私等ァ越後の國頸城郡寶田村井上傳吉といふ者でございますので源兵衞樣に一寸れ目に懸りたうございますから　女「アノ折角のれ來でゝございますがね、良人が居りましたら御目に懸るんですが、些と遠方へ立て參りましたので、惡からずれ謝絕をいたします　傳「ハイ、何の邊へれ行でなさいましたか　女「ハイ、何でございます、アノ急にマア用も出來ましたし旦那樣のれ供をいたしまして駿河の府中の方からズッと尾張の名古屋の方へ出でまして、それから京大坂の方から播州見物、藝州の廣島邊りまで都合に依つたら長崎までと斯ういふので立つて參りました」。

東京電報

▲糖政統一問題 臺灣新政統一問題として砂糖消費税八百五十萬圓を一般會計に移さんとの議は政府當局を初め各政黨の間にも同意者多かりしが近時有力な反對説出で右は臺灣特別會計の基礎を破壞し亦た毎年一般會計より多額の補助を要するに至るべしとなし政友會も同樣の意見を有するを以て本問題の解決は今後幾多の曲折を見るならん

▲軍馬糧食改良 軍馬改良の必要上洋馬の常食燕麥牧草の需用増加したるを以て陸軍省は糧秣廠を以て一手に該品を購買せしめ之を各師團に分布するに至るべく右は需給の調和を料り、價額の騰貴を防ぐ上に至大の効果あるべし（同上）

▲將官豫備編入 陸軍少將兒島好絢軍醫監小池正直男、同前原政次同中根成一同主計監遠藤愼司同横濱直好同齊柳忠治氏等は休職滿期豫備役編入仰付らる（同上）

▲旅順開放勅令 本日勅令を以て旅順西港を開放し內外船の出入を許せり（一日）

▲佛司令長官拜謁 佛國極東及太平洋艦隊司令長官海軍少將カットラ氏は今般來朝に付敬意を表する爲め部下參謀長幕僚七名を隨へ同國大使ゼラー氏同伴 天皇陛下に謁見仰せ附られたり（同上）

▲日墨博覽會出品 來る九月一日より開始せらるべき墨西哥日墨博覽會出品に就き東京大阪名古屋横濱神戸京都の各商業會議所に協議の結果今々太田大阪商業會議所齋藤同理事の兩氏は事務員二名貫子監督一名を隨へ十日横濱出帆渡航に決定せり

伯林電報

▲獨逸外相交迭 佛國駐剳獨逸大使は來る十月一日辭職し現外務大臣フォンシエン氏出で後任となり現ルーマニア國駐剳公使フォンキーデルレンウエーヒテール氏は八月一日外務大臣に新任せらるべく又たフローレス國大藏大臣フォンフィーハーエンペン氏はライン州知事に轉ずべし（一日）

▲葡國議會總選擧 葡萄牙議會は九月二十三日總選擧を執行する筈

▲朝日觀光團歡迎 東京大阪兩朝日新聞社主催の觀光團は伯林に於て市民の熱心なる歡待を受け各新聞は何れも懇篤なる歡迎の辭を揭げたり

紐育電報

▲米國貯金制度 亞米利加合衆國の郵便貯金制度案は今日迄で下院に提出せらるゝ事四十八回上院に提出せらるゝ事三十八回に達し常に否決されたるが今回漸く上下兩院を通過したり（同上）

地方電報

▲水道給水紛擾 本日より平壤水道の給水販賣を開始する筈なりしが從來の水汲人夫等二百餘名之に反對し去十四日以來大擧して屢々販賣事務所を襲ひ絶えず紛擾を起しつゝありしが給水期日切迫と共に一昨日來益す不穩の行動に出で事態急迫如何に成行くべきか計られず爲めに給水を中止せり（一日平壤發）

雜錄

警務總監部の官制

三十日附勅令を以て發布されし警察官署の新官制左の如し

統監府警察官署官制

第一條 統監府警察官署官制は統監府の管理に屬し韓國に於ける警察事務を掌る

第二條 統監府警察官署は警務總監部警務部及警察署とす

第三條 警務總監部は之を京城に置き韓國に於ける警察事務を總理し兼ねて皇宮及京城の警察事務を掌る

第四條 警察部は之れを各道に置き道內の警察事務及管內警察署の監督を掌る警察署は必要の地に之を置き管內の警察事務を掌る

警務部及警察署の位置及管轄區域は統監之れを定む

第五條 統監府警察官署に左の職員を置く

警務總長 勅任
警務官 奏任專任二人（內一人を勅任と爲すことを得）
警務部長 奏任
警視
警察署長 奏任專任五十二人
通譯官 奏任專任三人
技師 奏任專任一人
警察醫 奏任又は判任專任六人
屬、警部、技手、通譯生 判任專任三百五十八人

第六條 警務總長は駐劄韓國憲兵の長たる陸軍將官を以て之に充つ

警務總長は警務總監部の長となり統監の命を承け部務を總理し警察官署の職員を指揮監督す

第七條 警務官は上官の命を承け部務を掌る

第八條 警務部長は各道憲兵の長たる憲兵佐官を以て之れに充つ警務總長の命を承け部務を掌理し部下の職員及管內警察署の職員を指揮監督す

第九條 警務總長は京城に警務部長は其の管內に効力を有する命令を各其の職權又は委任に依り發する事を得

第十條 警察署長は警視又は警部を以て之に充つ上官の命を承け署務を掌理し部下の職員を指揮監督す

第十一條 警視は上官の命を承け警務事務を掌り部下の職員を指揮監督す

第十二條 通譯官は上官の命を承け飜譯及通譯を掌る

第十三條 技師は上官の命を承け技術を掌る

第十四條 警察醫は上官の命を承け警察に關する醫務を掌る

第十五條 屬は上官の指揮を承け庶務に從事す

警部は上官の指揮を承け警察事務に從事し部下の職員を指揮監督す

技手は上官の指揮を承け技術に從事す

通譯生は上官の指揮を承け飜譯及通譯に從事す

第十六條 警察官署に巡査及巡査補を置く巡査は判任官の待遇とし巡査補の取扱は憲兵補助員に準ず

巡査及巡査補に關する規定は統監之れを定む

附則

本令は明治四十三年七月一日より之れを施行す

統監府司法廳警察官々制は之を廢止す

本令施行の際現に韓政府警視又は警部の職に在る者は同官等俸給を以て統監府警視又は警部に任せられたるものとす

警視以下の休職

統監府は去月三十日附を以て韓政府各道警察部長及警察署長在職中の警視警部其他に對し左の通り休職を命ぜり

警視（京畿道警察部長）向田幸藏
同（慶尚北道同）岡田宣壽
同（同南道同）飯田章
同（全羅北道同）村上則定
同（同南道同）宮川武行
同（江原道同）渡邊素夫
同（平安南道同）湯淺秀富
同（同北道同）島田文之助
同（咸鏡北道同）陣軍吉
副理事官（同南道同）本木房吉
警視（忠清北道）阪本榮次郎
同（南部警察署長）桐原彦吉
同（中部同）上村豊助
警部 中原恒吉
同 山田市五郎
同 松田收吉
同 梅﨑辰太郎
同 佐藤梧一

右何れも文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

官制以外の規定

統監府警察官署官制と共に發布された諸規定は左の七件なり

一、統監府高等官々等俸給令中改正の件
一、統監府警察官署職員の俸給支給を停止するの件
一、統監府警察官署職員の任用及分限に關する件
一、統監府警察官署職員の官等に關する件
一、統監府警務總長及警察部長の發する命令に關する件
一、韓國に駐劄する憲兵に關する制中改正の件
一、統監府警察官署たる韓國人の任用分限及給與に關する件

警務總監部員任命

昨一日左の如く警務總監部に主なる任命あり

韓國憲兵司令官 兼任統監府警務總長 明石元二郎
（元警視副監）具然壽
（元警務局警務課長）中野有光
任統監府警務官
（元警務局保安課長）玄角仲巖
（元警視廳官房主理）青木戒三
任統監府警視

尙ほ續々發表せらるべし

警務部長の新設

別項の如く各道警察部長休職と共に韓國側警察は廢止されたるは警務總監部の下に各道警務部長を新設し同時に觀察道所在地には憲兵隊を置き其隊長を以て警視を兼任せしめ之を警務部長に補し從來の警察部長の職務を執行せしむる筈なり

手形交換所雜觀

一記者

▲新設の京城手形交換所は七月一日午前十一時三十分韓國銀行內の一室に於て第一日の交換事務を創めると聞いた、ナニセ半島開闢以來始めての事故ドンナ事を爲すかと興味を以て參觀に出掛た。

▲普通京城の集會時間は一二時間の懸値がある、而るに交換所は道かに銀行者の集りだ、定時乃ち十一時三十分には加盟者一同が着席した、各携帶のカバンから他店宛の手形小切手を出した、ソウして横山監事の卓上へ運んだ。

▲已に二回の練習を經て居るとは云へ監事も各交換手も中々馴れたものだ聞ゆる者は只監事卓上の算盤の音のみで聊かの喧噪なく規定の二十分間を越すこと僅かに二分で總ての事務を了つた。

▲當日の交換高は九万九千四百圓で大方は小切手であつた、尤も國庫支撥の支拂命令書及郵便爲替券、振替貯金券等も可成あつた。

▲横山監事の計算に達せるは見て居て心持の良い位だ、記者の知るところを以てすれば計算事務に就ては現今半島內はおろか內地に於ても横山氏に比肩し得る者は餘り多くは無樣だ

▲各加盟銀行の交換事務員は韓銀木下林三郎、第一佐藤新藏、十八淺田牧太郎、百三十大西幸吉、天一中原晋作、農工清水嘉八郎、韓一金嘉誠、漢城洪秉赫、京城郵便局島村正平等の九氏にして何れも事務に忠實なる人達と見受らる。

▲京城交換所の第一日は無事に了つたが之より後は各加盟者が德義を重んじ注意を加へ、不渡處分等の事故が起らぬ樣にしたい。

▲序に言ふが世界で一番交換高の多いのは紐育のクリアリング、ハウスで同所一箇年の交換高は約二千五百億圓だ、之に比すると東京交換所の一箇年五十億圓は實に歎いものだ、併し如何に多いとて餘所の世帶は何もならぬ、ドウカれ互は京城交換所の交換高を增す事に勉める樣にしたい。

總長部長の權限

警察官署官制第九條に依り警務總長は京城に各道警務部長は各其管內に効力ある命令を發するが此場合に於て拘留又科料の罰則を附する事を得る旨別に單行勅令を以て發布せられたり

●元警務局と警視廳 昨一日の元內部警務局及警視廳は官制廢止の跡始末と新設警務總監部の開廳との過渡期間に在る爲め留任を命ぜられたる當該係官は滿面に得意の笑を湛ながら此打切事務に忙殺され居れり就中警視廳の如きは一身にて元警視廳警視の事務と新官制の警視の職務とを併せ行ふ爲め盆と正月が一時に到來せるの觀あり

●留任者と辭令手續 今明日中に統監府警視警部に多數の異動あるべきが一々辭令を發するは急速の場合不可能なるも以て免職の辭令交付を受けざるものは其儘新官制の下に相當官たるべく心得べしといふ

●岡前次官へ下賜品 韓皇には岡前內部次官へ紀念として銀製花瓶を賜はる筈にて漢城美術品製作工場に於て製造中なる由猶岡氏は二日頃御暇乞の爲め昌德德壽兩宮に參內謁見する筈なり

●警察官兼任の武官 憲兵將校又は憲兵准士官下士にして統監府警察官署職員たる者の官等及等級は武官の官等及等級に依る事と定められたり

●米國獨立祭と祝賀 來る四日は米國獨立日に付き同日午前九時より同十時半迄京城總領事館にて外國官吏の祝賀を受くる由なり

●李首相の兩宮參內 總理大臣李完用氏は一日零時三十分出邸し昌德宮に參內し約一時間を經て退出し夫より德壽宮へ參內したり

●首相と內相の密議 內部大臣朴齊純氏は一日午後一時李首相を訪ひ時局問題に關し數時間密議したり

統一後の理事廳

警察權委託の結果今後の警察事務は新設警務總監部に統一せらるゝ事となり隨て從來日本人警察を司掌せる理事廳は其權限の大部分を奪ひ去られ殘す處は居留地行政の監督若くは土地證明の如き極めて閑散なる事務のみとなり現に警察事務は理事廳事務中其大部分を占め京城理事廳の如き其管下に三十餘箇所の警察署を有するにても明かなり唯だ茲に奇異の感あるは現行理事廳官制中警察行政に關するもの尠からずして一例を擧ぐれば新聞紙規則又は在留禁止處分の如きは理事官の權限に屬するを以て此間往々新設警務總監部との擯着を免れざるべし故に此場合に於ける連絡を保つ爲め早晩何等かの方法を講ずべしと云ふ

交換所新加盟者

通信管理局は手形交換所に加盟したり右に付今後は郵便爲替、振替貯金及代金取立濟の證券は普通銀行小切手同樣市中何れの加盟銀行にても受入らるゝこととなれり因に諸官署支發の支拂命令書も今後は同樣の取扱を受くることゝなれり

韓銀上半期純益

韓國銀行本年一月一日より六月末日に至る上半期純益金は二万六千圓なり、故に例に因つて六朱の配當をなすとすれば韓政府より受くべき補給金は四万九千圓なり

澤田局長の進退

澤田地方局長が岡前內部次官と進退を共にするとか或はせざる可からずとか世間種々なる噂を爲すものあるも氏の進退は新任宇佐美次官に一任しあるを以て決して世間噂の如きものに非ずと

●仁川病院の引繼濟 仁川民團立病院は昨一日より民團の手を離れ長尾乙二氏の經營に委する事になりたるが新來の院長は醫學士由利弘氏にして氏は曾て大學病院出代外科副手として聲名を垂れし人にして醫員として何れも醫道を極めし長尾乙二、名出國太郎、尾上早見及藥劑士鳥山貞雄の諸氏にして組織を一變し必切を以て診療に應ずると云へば從來の不評を挽回するならんと云ふ

●警察權委託と民心 警察事務委託の發表せらるる曉には多少民心の動揺することを豫期し警戒する所あるも今日までのところ何等の反響なく政府側及び各政派の幹部連は昨今寄り〳〵集合して密議しつゝあるも是れ統監赴任後に於ける各自派の立場に就て連日協議するのみにて今回の警察事務委託に關しては殆んど對岸の火災視しつゝあり

●會議所の役員選擧 既報の如く京城商業會議所の議員選擧は三十日無事執行したるを以て昨一日當選者へ通知書を發し二日總會を開き役員選擧を行ふ筈なり

●清國諮議官の入京 清國一等諮議會藍夫蔚氏は歸國の途三十日入京翌一日大久保軍司令官を其官邸に訪問せり又二日は龍山の兵營を觀覽する筈なりと云ふ

●三浦理事官の歸京 曩に東上歸任の途次馬山へ立寄りたる三浦京城理事官は二日午前八時十分南大門着列車にて歸任する筈なりと云ふ

●清水外務會計課長 外務省會計課長清水精三郎氏は滿洲より歸朝の途次一日夜入京巴城館に投宿

●小包取扱室移轉 仁川郵便局の小包取扱室は本局前の別棟にて統一上不便少なからざりしが三十日より本局內に移轉事務の取扱を爲す事となれり

●仁川港の來往人 三十日仁川入港木浦丸にて稅所、伊集院の兩憲兵中尉宇野春川裁判所判事木浦より來着入京

●伊國軍艦の來航 伊國軍艦カラボリヤ號は近日清國より仁川に來航の筈

●水野參事官巡視 滯京中の水野內務省參事官は一日農商工部の各課巡視

公人私人

▲森義太郎（海軍大佐）三十日釜山より入京巴城館へ投宿
▲加藤房藏（東洋協會幹事）は三十日入京同上
▲加藤勝之進（春川管區長憲兵中尉）三十日入京山本旅館へ
▲依田弘（平壤地方裁判所判事）釜山より入京浦尾へ
▲佐々木正吉（平壤財務監督署長）三十日入京浦尾へ

工業傳習所の近況

（野田所長の談）

▲意外の風說 此程某新聞に當時學生中時局に關し那事か不穩の企あるかの如く傳へられしも右は意外の冤罪にて目下左樣なる氣色は毫の毛程もなき處何れも專念實修に汲々たる他に他意を存せず併し時節柄の事故此邊に關しては充分の注意は拂ふべきも今後とても恐らく懸樣の虞はなかるべし殊に學生全部は悉く寄宿舍に收容の規定なれば取締上一層の便宜を有せり

▲校名の由來 本國の東京高等工業學校が曾て職工學校と命せられしが如く當工業所も特に傳習所の如き凡俗なる名稱を擇ひしは技工の尊重すべきを暗示せる者にして大に工業の神聖を發揮せん爲なり

▲實修の程度 民度低き今日に適合すべく各科實修も專意實用を旨としたり先づ染織科に於ては殊に機織に重きを措き機臺の如きも矮小なる韓人家屋の適合する樣小型となし染色も浸染を專一とし傍ら捺染は今日に於ける需用程度に於て極て單純なる花紋の刷毛刷りを教授し居れり他應用化學科に於ても同樣の下に材料に富める牛骨より膠の製造石鹸製紙等を主とせり就中製紙は幼稚ながら韓國今日の工藝中錚々たる物に屬し後來尙ほ大なる發展の餘地を存するものなれば特に注意を怠らず其他窯業木金工科等咸な否らざるはなし

▲卒業生現狀 何分工業奬勵の下にありて卒業生全體は悉く實業に從事し居らざるも官署若しくは他に奉職する者もある等各其業に安じ居れり就中有望なるは平壤附近山洞の窯業なり是は某卒業生の經營にして資本金二三萬圓を投じ僅かに昨年來の創業なるにも關はらず內外の好評嘖々として前途頗る有望なり其の他京畿分院の窯業は古來禁中の御用にて三十年迄は相當經營を繼續し來りしも其後中絶の姿にて今日に至りしが此頃に至り再興の擧あり是に就き窯業科生三人を派し被雇實修中なり開所當初は兎角役人目的を專に眞面目なる工業志願者尠かりしも近時漸く面目を改むるに至りしは歡ぶべし

▲職員と生徒 目下全學生數は本科百六十一人實修科三十九人都合二百人なり全部寄宿舍に收容し居れるが監督上好都合なるのみならず職員生徒間の融和は本國の今日に比し軒輊甚し畢竟するに全職員に開所以來一人の交送を見ざりしに因るとはいへ一面儒風より來れる師弟間の好情誼は渾然として今尙ほ遺存するによるものならん云々

▲治外法權▼

京城手形交換所が愈仕事を創しめた、成績はドウかと思つたら一日の交換高がザット拾萬圓だソウだ、一日で十萬圓なら一箇年で三千六百五十萬圓だ、此を東京交換所の交換高に比較するとヤット百卅分の一だ▲京城交換所の規則は至極簡單なればソレで結構だ、併し簡單でも役に立ちさへすれ者だ、兎角規則の良否は運用其人に因のだ▲只玆に考ふべきは營業狀態の危險なる銀行や、不信用行爲を敢てする銀行に對する交換所の制裁だ、組合銀行間に種々の議論もあろうが右は無論除名がよい▲京城で銀行と當座取引を有する連中の中には不都合な輩が幾らもある、斯る輩は甲、乙、丙、丁の各銀行へ取引を開き、ドッチにも嘘をツイて勝手に荒し廻る、譬へば彼の酒井政平の樣なのがソレだ▲尤も銀行の方にも落度がある、ソレは當座取引者を增さんが爲に相手方と他行との關係及び相手方の信用認定を寬大にしすぎる爲だ、併し之から後はドノ銀行宛の小切手も大抵は其日其日に交換所に集まる、コーなるからには今迄行はれ來つたカレコレの弊は漸次に消滅する▲當地商業會議所議員の半數改選が濟んだ、當選議員中には大分新顏も見れる、新舊交替は記者の歡迎するところだ▲聞く所に云へば從來商會議員の熱心なのは選擧の時ばかりだ、ソンな事では當選したつてツマらぬ、新議員の先生チト奮發し玉へ▲倫敦の町で英人の男女が日本の相撲取りをツカまへて女だと云つた、之を聞いた關取大に怒り私は女ぢやゴンセンと事もあろうに前をまくつて見せた。

東京電報

…業債券は三千三百萬圓即ち一千万圓…）發行總額に超過する事二千三百万…超ゆべし（一日）

▲日英博賣約高 日英博…六月一日より九日迄での賣約高を加算すれば三千三百四十萬磅に上れり

…との間に交渉を進めつゝあるが大藏當局にては未だ來年度擴張豫算を編…定すべし（同上）

▲外相の大使招宴 小村外相は…よしたり（同上）

●天氣豫報（自一日午後六時至二日午後六時）



常識な衛生當局

▽市中に黴菌の養成場

市衛生の統一せられざるは既に先日其の一端を述べた、今日は市衛生機關運用の任に當れる人及び政府當局者に衛生思想の皆無なる例證を擧げよう。

衛生當局者に衛生思想の皆無、恐るべき事ではないか、彼れ等は蠅が**傳染病の媒介**をすると云ふは知つて居る、而して此れを取り盡せとは云ふ、一旦煮沸しない水は飲用するな、食器即ち茶碗や箸の類は同じく一旦煮沸しない水では洗ふなと云ふ、菓物は食ふなと云ふ、野菜類も煮なければ食ふな、從つて漬物類は可成食はぬがよいとは云ふ、が、蠅の**根本的驅除法**は訓へもせねば自らも其の方法を執らぬのみか蒼蠅培養場を市中に設置して居る即ち太皇帝のれ住居**德壽宮**の隣接地に薪炭市場を設定し**牛の糞尿**は天日に曝されて**異臭**を放つて居る、同業朝鮮日報社前の廣場片隅には馬糞を堆積てあつた、街路に於ける淸人の脫糞放尿は制止されぬ、溝渠の浚渫は行はれぬ、不完全なる溝渠と暗渠とした爲め**汚水の停滯**せる慇は今日尚ほ悟られぬ**漢城**を東西に**貫通**せる大渠には所々何の爲めか汚水を堰止めて居るのを見て怪まぬ、然うして置いて市民には蚊蠅の**驅除を促**る、此れが果して衛生思想あるもの丶採るべき方針として見ることが出來るか、一旦煮沸さない水の飲用及び食器類の洗滌を禁じたるは尤も至極の事であるが前に述べた如く黴菌養成並に其傳播機關の撲滅を圖らずして幾許の實效を收め得べきかは考への內に入つて居らぬ、**熱湯**も**冷**せば元の**水**である、汲み出す柄杓には蠅も止まれば、埃も附く**黴菌**も著く夫れを入るれば**繁殖**する、夫れは一々丁寧に拂拭せざるの罪だと云はんが夫れが果して一般人に實行せらるゝ事と思ふか、**今日**の**民力民智**に於て行はれ得ること信ずるか、更らに我**一千萬衆**に**漬物**を**食**ふを**避**けよと云ひ而して其の實行を所期するに至つては衛生思想の缺乏と云ふより寧ろ**常識の缺乏**である、溝渠を完成せず溝水、放流の通路を作らず、我が汚物の搬出と淸人汚物の除去とが合致せざる以上、公衆衛生上の危殆は依然として存在して居るのである、此の位の道理が分らんと云ふのは衛生思想の缺乏ではあるまいか、昨年の如きは**統監府內**に虎疫患者が發生したではないか、昌德宮內にも發生したではないか、南山上にも**昌德宮**內にも黴菌は運ばれるのである、危機已れの身邊に迫らざるの故を以て晏如として此の緊切至急なる施設に留意する所なき彼等は啻に衛生思想の缺乏せるのみでなく實に常識を有せざるものではあるまいか、と云へば金がないからだと云ふかも知れぬが如何なる場合にも金は有り餘るものでない、無ければ調らねば駄目である、オイ是れで溝を作造ろと眼の前へ抛り出されるのを待つて居ては駄目である、早い話しが度支部に交渉して**南大門**、**景福宮**を漢城府に貰ひ受け**日韓人心融和**の上に大害ある此の兩者を拂ひ下げて一は感情の融和に**資**し一は**衛生資金の一部**と爲すが如きも又一法であらふ、疫病の猖獗に遭ふて**周章腐**つて支出する數十萬金を平素に於て疫病豫防費に支出せよ、**石炭酸一瓶**の價は**一間の溝渠**を**築造**するに足るであらう、衛生事務に從事する官公吏はモ少し其思想がある者を任命すべきである

郵便局所の怠慢

▽遺失郵便拾得屆出

郵便集配人が郵便物を窃取爲替金を騙取し處罰せられたる者は最多數にして又普通郵便物が途中に於て紛失未着は屢々なるが現に本月十八日朝午前六時本社員が拾得したる西小門通り日の出亭酌婦さつ宛の封書差出人は色男よりとあり附近の者に付直接渡したり茲に南大門郵便局より御成町日韓林業株式會社出張所井上槌太郎宛の書留郵便物配達未濟の郵便物を三十日午前十二時三十分頃南大門驛附近に於て學部主事趙漢稷が拾得し之を中部署に屆出しに付取調べしに北海道札幌三條郵便局取扱電報爲替金四十二圓の證書入りなる事判明せしが未だ何等の手續も爲し居らざる由にて其筋に照會中なるが遺失したる集配人の不埒なるは勿論當該監督者の不注意は甚だ不都合なる可し

●御成町の赤痢病　御成町エーテー隣り理髮業後藤鶴馬(三十)は六月三十日午後四時赤痢病に罹り靑坡病院へ

女振り

桐原前警視夫人　桐原つた子



桐原警視は元の南部署長だ、先頃迄久しく前統監護衛として相州は片瀨に行つてられたのは皆さん御存じの事である、統監の重態に陷るに引き換へ彥吉君は著しく元氣を增された如だ、文久二年鹿兒島郡吉野村に生れた、つた子夫人は明治四年の產、即れ子さんは素晴らしく澤山ある、即ち孃ちやんが五人、坊ちやんが三人、三人に五人合せて八人ある、れ宅に居られるのは五人さん、次女の千代子さんは四十一年中十五歲を以て病歿せられた、次男の利光君は本年十四歲であらるゝが此れは親戚へ養嗣子として貰はれて行かれた、長男の利彥君は何んでも勉學の爲め東都に居られるとか、長女のしげ子さんは本年芳紀正に二十歲、接客かられ妹弟のれ世話を擔任して居らるゝ、三女三代子さんは十二、四女の瀰壽子さんは八歲、三男の利武さんが七歲、五女の京子さんはれ二歲、と列べると恰度戶口調査の如だ、警察署長の戶口調査を新聞記者が行るとは署長さんでも御存じあるめゑだ、併し決して警務機關の統一から然う云ふ風に改正された次第ぢやないのだ、つた子さんは女大學に依つて養成せられた極地味な方だ、れ世辭もないが冷淡でもない、莊子の云ひ草ではないが無爲にして而して化すと云つた風である、水の無味にして猶且つ缺くべからざる必須物たるが如くである、質樸淳朴な方である。

西小門通の赤痢

▽其の診定は誇大ならずや

西小門通り三番戶料理店日の出亭酌婦額上とくは去る二十三日以來罹病せしより同所管醫院に診療を乞ひたるに大腸加答兒に罹り居るとて判明したも彼は何故か服藥せず果實等の食用を禁じたるも夫れにも服せざりしより同醫院にても施す術なく其儘に過ぎ居たる二十九日彼れは何思ひけん大韓醫院の診療を受けしに赤痢症と診定せられ入院したるより日の出亭は三十日午後に至り交通遮斷の貼札をされたるも一向消毒施行の模樣なかりし七時半頃に至り突然右貼札を剝奪し交通遮斷を解かれたり吾が社は小路を隔てたる計りの隣家なれば不安の念に堪へず西部署に電照したるに宛も同時刻御成町に同患者發生したるを以て日の出亭の消毒は遲延したるなり又貼札を撤したるは制規の手續を省畧するも差支へなき程の輕症患者なりしより撤去したるなりとの回答を得たり堂々たる西部署管內に同時僅に二人の患者を出したるのみにて消毒の遲延理由として甚だ薄弱ならずや、聲を大にして警戒を叫ぶは可、時に聲を怒らして威嚇するは不可なり、下人心恟々たり撤去する樣な貼札を初めから爲さゞる樣大韓醫院の名醫達の注意を望む

●汲水夫と奥さん　大和町三丁目卅五番戶官吏武田源太郎方は水道飲料水を汲水夫柳達完(三〇)より一箇月金六十錢の定めにて買來りたる所三十日計算に際し妻君は三回丈け不用の爲め受取り居らざるより五十錢に減けよ然らざれば支拂ねと云ふ汲水夫は一箇月六十錢の定めにて一回幾錢の約束にあらず殊に汲水夫の方にては水は汲み行きしも貴方の都合上受取らざりしものなるのみか自分は水道會社に支拂ひ居る事なれば是非六十錢請求すと主張し又官吏が月給何十圓と定め居るに三日缺勤せしとて差引あるまじと例を引いての辨論に武田の妻君は水汲夫の不當を寧洞分遣所に訴へたるより取調しに當然の理由なるより結局六十錢支拂ふ事になりたりとはサテモ〳〵

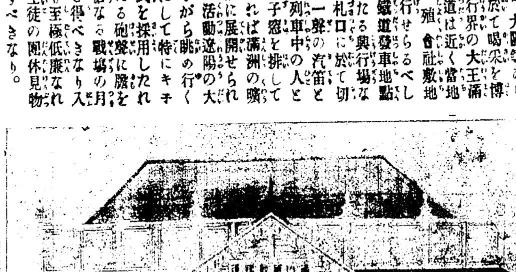
●戲談から血が出　鹿兒島縣人當時大和町三丁目洗濯業柄澤行巽方雇人西岡哲志(三二)東京府當時同所雇人木村幸太郎(二四)は何れも同職間にて常々睦じく職業に從事し居る者なるが幸太郎は二十九日夕暮れ何處へか遊びに行き午後十二後頃歸家したるに既に戶は締り居るより開戶を賴み戶を叩きたるに哲志が入釜敷ひ何故戶を叩くか郵便物なら郵便受箱に投入す可しと串戲半分怒鳴り飛したるを他の雇人起き出で開戶したるに哲志の暴言に憤慨したる幸太郎は貴樣覺へ居れと云ひ放ち寢に就きたるが翌朝午前六時頃全部起床したる後幸太郎は仕事場にありし燒鏝を以て哲志に向ひ昨夜の復讐なりとて頭部を毆打し輕傷を負せたるにぞ大和町派出所に訴へ出双方取調しに何等別に恨みとてなく殊に同職間の事とて幸太郎より謝罪し示談せしにぞ說諭事濟み

●仁川の東京相撲　仁川に於ける東京角力は空前の大人氣にて一日午前七時には滿塲立錐の餘地なき盛況を極めたり(初日)

●佛樣の罰が當る　南部茶洞六統四戶人夫孫姜俊一(四三)北部苑洞十九統十戶李泰憲(三十)江原道華川郡面洞金某は何れも寺荒しを爲し佛像を窃取し或は强奪を目的とする惡漢なるが彼等は各所を荒し佛像を窃取し本町二丁目古物商瀨戶米太郎本町六丁目同島越たに方に佛像等を賣却したる事南部署刑事に捕れ檢事局に送らる

●女郎と藝妓　花月藝妓菊勇事多田ひで(二三)は滿期にて廢業鄉里へ南山樓女郞常盤事飯島なつ(二五)は六月三十日限り足を洗ひ廢業鄉里神奈川へ

東京、京都、大阪等あらゆる地にて喝采を博したる興行界の大王滿洲觀戰鐵道は近く當地明治町拓殖會社敷地前にて興行せらるべし下圖は同鐵道發車地點驛を象りたる興行場なりとす出札口に於て切符を求め一聲の汽笛と共に身の列車中の人となるや硝子窓を排して側面を見れば滿洲の曠野は眼前に展開せられ白襷隊の活動遼陽の大戰を居ながら眺め行く仕掛けにして特にキネオラマ式を採用したれば轟々たる砲聲に朧の月冷し凄愴なる戰場の光景にも接し得べきなり入場料金も至極低廉なれば學校生徒の閑休見物等に適すべきなり。



●南山本願寺の韓人敎會　今二日午後一時より同寺にて奧村敏子女史は通譯を介して本願寺韓人敎社員其他有志者に對し一場の講話を試むる由なり

●南山本願寺土曜會　今二日土曜日に付き例の通り午後八時半より說敎有り

●壽座　七月一日代り番組左の如し　はながをしい(金平)ゆび寫し綿獅子の曲(金遊齋)常盤津並に浮世ぶし(小つま)區違い音曲(市馬)出來心(金勝)音曲手れぞり(金登喜)つゑたく(花圓遊)曲藝(鍛治郎)尺八曲(花堂)よい〳〵そば(金馬)大切喜劇笑話

●中券の賣上順　昨今の花柳界は頗る好景氣なるが今中券番六月中の賣上順十五番迄を聞くに左の如し

雛子(井門)今奴(淸華)花奴(花月)若一(同)れふく(同)蝶次(中券)文之助(擲翠)辰子(花月)辰次(同)小高(同)れゑん(同)君江(同)靜子(擲翠)きんや(花月)稻奴(同)

右の內今迄中軸以上に餘り顏を出さゞりし井門の雛子が第一位を占めしは意外とする處なるも同妓は藝妓としての天才を有し所謂十八人好きのする妓なれば今回の躍進は蓋し當然ならん次に擲翠の靜子が下落せしは何か理由のあることにや

英吉利の醜業婦

世界の花の都と歌はれて居る佛國巴里の都の花魁衆は申す迄もない、英國倫敦に獨逸の伯林に、さては米國桑港紐育なんざに於ける亞米利加女郎衆の端くれに至る迄何もオギヤと生れた時から男を溺す魔性のものと相場の極つて居る譯のものでもない、海山千年の怪性のものに成る迄には夫れ相當の徑路を通つて來て居るのは日本と更らに變りはないのだ以下英國ウエールス地方に於ける醜業婦買出しの惡辣手段を叙して可憐なる少女が如何にして悲境に沈みつゝあるかを紹介して見やう。

英國ウエールス地方で女郎屋を遣つて居る男と云へば英本國のものでなくつて、大低は諸方を流れ歩いて來た外國人の狡漢である、其等が醜業婦を買出しする方法は頗る巧妙なもので、云ふよりは寧ろ**體の好い誘拐**である、先づ彼等は新聞紙に次の樣な廣告を出す

小間使一人(年齡十七歲より二十歲位)右は某貴婦人方に於て至急雇入度し希望者は下記へ申込まる可し　世話人　倫敦市何街何番地　何某

此の廣告を見た**田舍娘達**は花の都の倫敦の而も立派な貴婦人の家に仕込まれると云ふので、こんな好い事はないと思つて、早速手紙を遣つて**世話人**に詳細の事を**問合**して見ると、思つたよりも給金も好し仕事も樂なやうなので、直ぐ折り返して世話人に依賴狀と**寫眞**を送る一方では好い椋鳥が掛つたと思つて早速又嘘八百を書き立てゝ同時に其の手紙の中へは**汽車の切符**まで**封**して遣る、それで田舍娘は欺されるとは露知らず飛立つやうにして倫敦へ行き、彼方此方と世話人の家を探がして辛と其の家に着いて容子を聞いて見ると世話人は慇懃な事を云ふ、まあ折角來て下すつたが餘り時日が經つのでれ前さんを雇ひ度いと言つて居られた奧樣は**外國**へお立ちになつた(へ勿論これは佛蘭西へとか、獨逸へとか又は土耳其へとか日本へとか出鱈目を言ふのである)だが奧樣はれ前さんに後から直ぐ追駈けて來るやうにと言つて**汽車賃**だけは**預**つてゐる、然し姐さん是れが內地なら兎も角、れ前さんも外國三界まで隨申して行くとあれば少く考へなくちやアなるまい第一俺の方でも預う**無責任**の事も出來ねゝから、愈々腹を据ねて行きなさるとなれば、れ前さんの**兩親**からも**承知**したと云ふ**證文**の一本も入て置て貰はなくちやあならねゑ、何にさま間違はあるまいけれど念にも念を入て置かなきや人の體だから何時如何な事があらうとも限らねゝでは何の彼のと言つて外國行を承諾するまで娘がうんと言ふのが奴等の慣用手段である此所等は一寸日本のに似て居る(つゞく)

南東風曇後小雨　一日(土曜)　最高溫度　八八、七　最低溫度　一七、七

海軍擴張案成行　海軍擴張計劃に要する經費に關し既に大體の成案を作製し目下海軍當局と大藏當局と交渉せさるも大に其步を見つゝあれば之れが具體的の成案は六月中には決

…に七十九行の代理店及二百餘の地方取扱店より報告の到着したる新勘定に達し尚ほ今明日中發行せらるべき二百餘の取扱店よりの報告を合はすれば三倍半即ち三千五百萬圓を…

…覽會出品協會よりの報告によれば五月中に於ける同博覽會日本品賣約高は二千三百九十七磅に達し其の後…

…智利國公使を主賓として晩餐會を催…

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話二千四百〇九番

ゑり徳商店

●朝鮮唯一の土産夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め

賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會褒状受領ス

世界第一等の滋養品
牛乳鶏卵に優る十数倍

滋養強壯 人參飴

元祖發賣元 京城本町二丁目 井口順生堂藥房

本品は滋養剤として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土産品なり本品は殊に夏季の強壯剤として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ

◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壌、開城、龍山、鎮南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ

京城本町二丁目（電話一九九番）井口大藥房

京城大販賣店（本支）亀屋店

青木堂

京城梅毒病院

京城桐生町南門湯横（電話一二九四番）

自午前八時 至午後九時

●花柳病專門 附、痔疾一般

●入院隨意●

院長 醫學得業士 蘆田耕平

廣告

前間恭作氏著

韓語通

定價壹圓五十錢 郵税十錢

今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候

韓國京城本町五丁目 和洋金物商 釘本藤次郎本店

長電話四五番 電信略號（ク） 振替貯金口座韓國（二一五六）

旅館

京城ホテル

京城南山町三丁目

電話長一二三番 四九二番

日本室和食

特等（三圓五十錢）

一等（二圓五十錢）

二等（一圓八十錢）

三等（一圓五十錢）

移轉御披露

御待合 住の家

京城旭町一丁目小森材木店裏

電話六七六番

是迄の住の家は夏の待合としてチト鬱陶敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粋を凝らし方の離れ座敷亦は夕暉の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らず御ヒイキを願ひ上げます遊び人目を忍ぶ君様方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を覗見て質店前に出て右に御曲りの上裏門よりと あるじ白す

辯護士
特許辯理士
岩田仙宗

京城明治町二丁目（佛國教會前）

電話三五四番

英國製

輸入新荷着

ライト號

附屬品付 正價七十圓

車體堅牢にして優美紳士用實用に適す

京城本町二丁目 歐米各國自轉車直輸入商

織居商店自轉車部

電話四百八十番



輸入發賣元

大阪西區土佐堀二丁目

田坂商店

韓國發賣元

京城南大門通り三丁目（銅峴小廣橋）

田坂支店

せんたくこ 粉



賣捌所は全國到る處にあり 最寄にて御購求を乞ふ

この衣洗清白粉は英國特製品にして絹布木綿の別なく如何なる油浸み又は垢汚なるものもこの粉少量を用ひて洗濯すれば直に奇麗になります普通石鹸又は曹達等にて洗濯するより安價にして手間を取らず品質を傷めず皮膚を荒さず至て便利の者であります其外各工場の職工及各鑛山坑夫の御手洗用及油附着の衣類器具等の洗滌用として至極適當のものであります及この溶液はあまり稀薄とならざる程度まで何回にても使用出來ます御手洗及御婦人の頭髪を洗ふには極稀薄として用ひてよろし

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通（電話四二〇）

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國日本其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

京城曙町（電話二八七番）

統監府御用
宮内府御用
軸物表装
金銀屏風
額面襖
壁張石井張

石川表具店

株式會社 百三十銀行 韓國支店

京城本町二丁目十五番地 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 米子、境、松江、久手、大田

山陽道 玉島、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、原、廣島、福山、府中、尾の道、三次、下關、萩、徳山、柳井、平生、牛窓、味野、岩見、岡山、小郡、長府、網干

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、徳島、撫養、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 久留米、若津、中津、小倉、福岡、博多、若松、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壌、木浦、羅州、馬山、群山、安東縣、晋州、尚州

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

株式會社

東京火災海上運送保險

資本金一千萬圓

明治廿年七月創立

代理店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

特約販賣自製

味噌醤油製造元
漬物問屋

ビール 新茶大賣出し

大上商店

京城本町五丁目

（電話二五一番）

齒科治療

ドクトル 中村安子

本町六丁目（藪そば横町）電話一五八三

▲本品は市内到る處の小間物、雜貨、藥店等に販賣せり▼

韓國代理店

百福號

京城本町四丁目（電話七四六番）（振替口韓一二番）

製造元 大坂 龜田正五郎
全國一手發賣元 大坂 楠原菊藏
韓國一手發賣元 京城 武藏熊太郎

專賣特許一一二九八

粉末石鹸

一名シヤボン粉

實用的の本品は原料植物脂肪性なれば地質を傷めず時間と勞力とを省き汚垢の速に脱れる世界無類の新發明洗濯石鹸なり

（奥さん曰く）今度新發明の粉末石鹸を使用いたしましたら女中が洗濯上の手數が省けて時間の經濟に大利益があり其上至極安價なれば此迄の洗濯石鹸の半額で濟みます

（女中曰く）在來の洗濯石鹸や洗濯灰汁よりも此粉しやぼんを使用すれば汚れの脱れるとは數層倍で其上擦り付けたりすることが要りませんから身体が大變樂であります

未だ粉末石鹸を知らさる人は試みに一鑵を使用して他の洗濯石鹸よりも確かに最上の逸品なるを知り給へ

金錢貸借 電話讓渡 土地家屋 老舗賣買 人事百般其他

周旋業

明治屋

京城明治町一丁目勧商場前（電話一一九八）

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣

藤田合名會社

東京 ランバーソ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
大日本麦酒株式會社特約

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 京城南大門通一丁目（電話六九番）・東京京橋區新橋三丁目十二番地